

# 人々が『つい歩いてしまう』 シカケのアイデア

大阪大学大学院 小林佑輔

**にんげんは  
連續したものが途切れると、  
続きが気になるいきもの。**

マンガ、小説、ドラマ、番組・・・etc

続きが気になって仕方がないんです。

**とはいえ、**

**大人である私たちは歩くのがとても面倒。**

でも、

子に歩かれりや、歩いてやらねば。

電信キャンバス

普段いつもみている電柱。

あれ、でも、いつもと違う・・・





3匹のワマ

ロシアの昔話

絵：morisu maki

ライト：萩原徹郎

ディレクション：新宮文明

レイアウト：酒谷良久

制作：株式会社シティプラン

①

よく見るとそこには、  
絵本の見開き 1 ページ。



まるで絵本が僕らを呼んでいるみたい。

**でも、だれが描くの？**

**将来、絵本作家やマンガ家を夢みている  
アマチュアさんに描いてもらう。**

**「電信キャンバスコレクション」を開催し、  
未来の有望なアマチュアさんの登竜門に。**



**最後のページに QR コードを添えて、  
購入へ。**

## ほかのつかいかた

絵本や、マンガだけでなく、絵画や写真などを展示し、屋外の美術展などもできる。

「つい、歩いてしまう。」

そんな電信キャンバスで  
まちをにぎやかにしませんか。